



浅野 浩之 議員 (公明)

区政に関する積極的な情報提供について

①新聞折り込みによる「広報しながわ」が実際に届けられていない世帯数等は。②全世帯に漏れが無いように各戸配布しては。③区の時事情報、例えば各種イベント情報等を、メール配信サービスなどの伝えたい側が情報を送り出す、プッシュ型の情報提供で区民に届けては。

企画部長 ①直近の世論調査では全体の約70%の方が広報紙の紙面に目を通している。

②同一日の配布が困難になるなどの難点がある。新聞折り込みを基本として補充する方を策を充実させることが、妥当な選択ではないかと考える。③区政やまちに関する情報提供のあり方を検討する。

ケーブルテレビ品川の活用について

①新しいメディアである「楽ビジョン」における、ビデオオンデマンドサービスについて⑦提供する番組の選定基準を設けることが必要では。⑧区内小中学校の特色の紹介など、区民にとって有益な情報を提供し、また区民が所有している貴重なビデオを提供していただき視聴できるようにしては。⑨高齢者や障がい者の安否確認、在宅健康管理への活用に見通しは。

今後の課題だ。⑤今後も展示内容や情報の提供体制の充実に努める。

在日外国人の無年金高齢者・障がい者の救済措置について

①平成5年に、年金が受給できない在日外国人の救済措置について国に要望しているとの答弁があった。その後の区の対応内容は。②特別給付の実施を要望する。

区長 ①東京都国民年金協

議会を通じ国に要望をしてきたが、具体化には至っていない。②国制度が改正されるまでの暫定措置であることなどを踏まえ検討する。

高齢者の住まいのバリアフリーについて

①自立支援住宅改修事業の所得制限の設定と、そのうちの住宅設備改修給付の対象者を、要介護、要支援に限定した理由は。②制限を外しては。③生活保護受給などに応じて、自己負担を減免しては。④玄関から公道の境界を含めた段差解消工事についても、助成対象としては。⑤さまざまな器具を気楽に体験できるように、バリアフリー住まい館の充実に向けた検討を。

福祉高齢事業部長 ①所得

制限は個人財産に係る側面などからだ。対象者は給付内容が昇降機の設置等であり、利用すると想定される高齢者像から適切だと考える。②今後の利用推移を見守る。③介護保険の住宅改修と内容的に重なる部分があり、当面現行基準で運用することが適当だ。④助成事業として成り立つか、

旗の台駅周辺の街づくりについて

①駅の改良工事に伴い整備された、付替道路の安全対策の実施に見通しは。②公衆トイレの設置と、オートバイも利用できる駐輪場の設置の計画は。③違法駐輪防止も考慮し、壁面美化を含めた高架下の活用方法の検討を要望する。

④周辺商店街の地域イベント等で使用する備置き場として、高架下の周辺のスペースを活用することへの見通しは。

まちづくり事業部長 ①東

急電鉄に対し要請する。②公衆トイレは設置に向け東急電鉄と協議する予定だ。駐輪場は東急電鉄に整備を要請している。③放置自転車対策の強化を行うなど、安全と環境に配慮した駅周辺の整備を行う。④地域の意向が実現されるよう、東急電鉄に対し働きかけを行う。



高橋 慎司 議員 (無ク)

品川区の教育について

ているものと考え。③平成17年度までの5年間は、毎年全児童・生徒の0.02から0.08%のいじめの報告を受けたなどだ。④校長となるためには、東京都教育委員会の管理職選考等を受け、合格後、品川区に校長として勤務することが可能になる。⑤単純に経験年数のみで判断することなく、ケース・バイ・ケースで校長が判断している。

品川区の障がい児(者)福祉について

①障がいを持つ子どもの出生から就学まで療育全般の情報を集約し、支援体制が広がるよう、各専門機関と連携をとって必要な情報やサービスをコーディネートする施設をつくっては。②就学相談において、窓口が発達障がいに関する専門家を配置する考えは。③発達に配慮するべき子どもの指導について、併設幼稚園と小学校の連携はうまくいっているのか。④小中学校における新たな介助員制度の構築について伺う。⑤すまいるスクールにおける障がい児等の受け入れについて伺う。

⑥障がい者の法定雇用率を満たしていない区内の社会福祉法人について⑦区内福祉施設における指定管理に際し、法定雇用率の評価等を行ったのか。⑧今後の指導等は。

福祉高齢事業部長 ①療育

を必要とする方への相談業務については、今後、品川児童学園で行う予定であり、その中で子どものライフステージに沿った支援体制を整備する。⑥⑦区としての指定管理者選

定の基本方針を定めており、サービスの観点から評価を行うなど、総合的に判断している。①法人懇談会の場等を活用し、今後研究する。

教育次長 ②さまざまな障

害の専門家から成る就学相談委員会を設置して対応している。③情報交換等が行われ、スムーズな移行に効果を上げている。④経費面を含め、現在検討を重ねている。⑤専門スタッフによる医療行為が必要なケース等を除き、できるだけ対応している。

NPOなどへの支援について

①NPOへの運営事業費の支払いは、先払いして後に清算する「概算支払い方式」に変更し事業力等の育成強化を。②学校の空き教室を事務所と

してNPOに廉価で貸し出しを。③NPOをはじめ幅広いボランティア活動や、ネットワークづくりをサポートするための拠点の整備を。④災害時のボランティアの募集や受け付け体制は。⑤ボランティアの募集・応募の情報を集約し、発信する窓口となるボランティア支援センター設立を。

区長 ①1件ごとに概算払いの必要性を見きわめながらNPOと契約することはできないものと考えている。②③長期基本計画策定の中で検討する。④全国からのボランティアは、都が窓口になり募集を行うが、区も、密接な連携をとり、必要な派遣を受けることとなっている。⑤企画部内でそのような機能を持っていかどうか検討しているが、い

ましばらく時間を必要とする。

請願・陳情の審査結果 (平成19年第4回定例会)

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、審査結果をお知らせします。

Table with 4 columns: 付託委員会, 請願・陳情件名, 受理番号, 審査結果. It lists various petitions and their review outcomes.

※ 趣旨採択(区議会として、ご希望の趣旨には賛同します。) 不採択(区議会としては、ご希望に賛同しかねます。)